

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年2月調査結果-

## 調査要領

- 調査期間 2017年2月7日～27日
- 調査対象 200社
- 回答企業 104社
- 回収率 52.0%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の2月の状況を見ると業況DIは、前月より6.8ポイント回復の▲10.6。

2014年4月以来35ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、建設業、製造業、小売業、サービス業の4業種において回復した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲17.3と当月に比べ6.7ポイント悪化を見込んでいる。

業種別で見ると、製造業、卸売業、小売業、サービスで悪化が見込まれている。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2016年 9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	先行き見通し 2017年3月～5月
業況	▲15.4	▲17.3	▲12.9	▲11.8	▲17.4	▲10.6	▲17.3
売上	▲14.5	▲13.4	▲6.0	▲15.7	▲14.3	▲13.5	▲15.4
採算	▲18.3	▲14.4	▲11.8	▲9.8	▲8.2	▲10.6	▲20.2
仕入単価	▲13.5	▲20.2	▲21.8	▲25.5	▲29.6	▲26.9	▲26.9
従業員	29.8	35.6	24.7	25.5	30.6	24.1	24.1
資金繰り	▲1.9	▲5.8	▲7.0	▲6.8	▲7.2	▲7.7	▲14.4

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2016年 9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	先行き見通し 2017年3月～5月
建設	▲20.8	▲16.0	▲13.6	0.0	▲9.1	▲4.0	▲4.0
製造	▲12.0	▲8.0	▲7.4	0.0	0.0	4.1	▲12.5
卸売	▲31.9	▲20.0	▲16.7	▲36.8	▲15.0	▲33.3	▲38.1
小売	▲28.6	▲53.3	▲25.0	▲43.7	▲50.0	▲17.6	▲23.5
サービス	▲27.7	0.0	▲5.5	11.7	▲25.0	▲5.9	▲11.8

## 今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題は『技術職員』不足。求人しているが応募者がいない。（設備その他）</li> <li>・先行き従業員不足が考えられます。また資材の上昇傾向が見られます。（建築）</li> <li>・免許保持技術者の確保に苦慮しています。（設備その他）</li> <li>・下水汚泥堆肥化の工程一部を工夫し悪臭がしない、しかも大腸菌ゼロの堆肥化に成功し特許を取得したがこれをどのようにビジネスとして立ち上げるか検討中だがうまい決定打が見つからない。（設備その他）</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景気動向は依然として低迷していること、インターネット普及によるペーパーレス化等により、印刷マーケットは縮小傾向にある。関連ビジネスとして動画やWEBサイトの需要が出ているものの、紙媒体の受注減少をカバーするに至っていない。新しい分野への営業活動に尽力するが、この傾向が続くと将来的に受注実績に見合う設備や雇用とせざるを得ないと思われる。（印刷出版）</li> <li>・前年は値上げによる駆込み重要があったため、今期は反動の結果となっている。年末実施の設備投資は、早期本稼働をすすめたい。（家具木材）</li> <li>・設備更新期の機械があり補修費が拡大している。新規に機械導入したいが先行き不透明なので……。原材料、鋼材及びアルミ材の値上げが続いている。（金属鉄工窯業）</li> <li>・提案力を磨く。自社の強みをさりげなく紹介して売上・新規顧客を続々と獲得中。公的訓練機関からの研修者を受け入れし、就業者の確保をする方が新規（高卒）よりも効率が良い。（金属鉄工窯業）</li> <li>・残業時間減少への取り組み（金属鉄工窯業）</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総体的には上昇傾向にあるが、2月は前年比マイナス。今後についても好材料はなく現状維持で推移しそう。経営に関しても変化なし（機械鋼材）</li> <li>・新しい期を迎え、売上が伸び悩んでいる。この業界全体悪いとのことなので何か新しい切り口を探さなければならないと考えている。最近メーカーからの仕切りが小さく上がっている。利益を圧迫し始めている。（その他）</li> <li>・前年度と同等の業況と思われる（機械鋼材）</li> <li>・灯油の販売単価は、当面の間、現在の価格で推移するものと思われる。（その他）</li> <li>・仕入単価は既に上昇しているが、今後も上昇すると思います。（機械鋼材）</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入価格上昇分を価格に転嫁できていない（その他）</li> <li>・バーゲンセールが前倒しのため、シーズンの変わり目は特に来店客が少なくなり大変苦戦しています。春物を店舗にレイアウトしても北海道はまだ冬のためお客様の購買意欲を掻き立てるまでには至らない。バレンタインデーもお買い上げのお客様が年々少なくなっている。（衣服身の回り）</li> <li>・売上面での挽回（食料品）</li> <li>・必要人員確保に厳しさがある。求人を出しても人が集まらない。（その他）</li> <li>・人員不足によるサービスのレベル低下（食料品）</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬まつり期間中、外国人観光客の来店が昨年よりも多かったように思われる。（飲食）</li> <li>・外国人団体客の減少の中、個人客は増加。しかしながら昨年よりも新規ホテル増えたことで価格競争に陥り単価下落から減収減益の見通し。（ホテル）</li> <li>・冬型事故修理なし。平年は20台以上あるのに1ヶ月0台。一般消費が冷え込み車を修理せず走行している。（自動車修理）</li> <li>・上川管内のホテル稼働率は前年比10%ダウンで昨年より悪く苦戦。札幌方面、ニセコ、富良野方面、函館方面は観光客増加により10%増となり全体で約7%増。（クリーニング）</li> <li>・新しい技術へ対応するために、設備投資と人材育成が不可欠。（その他）</li> <li>・冬期の観光型乗客数が外国人を中心に伸びている。中心市街地への求心力を強化していく施策を強く要望する。七空港一括民営化施策には今後も注目すべきであり、地域活性化の大きなトリガーになることを期待。そのために地元がどうやって汗をかか。リーダーがいない点が気がかり。（運送）</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI2.7 ポイント回復、採算 DI5.1 ポイント回復、仕入単価 DI0.7 ポイント悪化、資金 DI0.6 ポイント悪化、従業員 DI11.9 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.1 ポイント回復となった。業種別では、設備その他 13 ポイント悪化、総合工事 10 ポイント、建築 20 ポイント回復となった。課題は『技術職員』不足。求人しているが応募者がいないとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI8.3 ポイント悪化、採算 DI8.4 ポイント悪化、仕入単価 DI4.1 ポイント悪化、資金 DI 横ばい、従業員 DI8.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 4.1 ポイント回復となった。業種別では、家具木材 20 ポイント、金属窯業他 10 ポイント悪化、食料品 33 ポイント、印刷出版 42 ポイント回復となった。前年度は値上げによる駆け込み需要があったため今期は反動の結果となった。年末実施の設備投資は早期本稼動をすすめたいという声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI9.1 ポイント悪化、採算 DI18.5 ポイント悪化、仕入単価 DI11.2 ポイント回復、資金 DI13.6 ポイント悪化、従業員 DI5.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 18.3 ポイント悪化となった。業種別では、その他 4 ポイント回復、繊維 100 ポイント、食料品 28 ポイント、機械鋼材 25 ポイント悪化となった。新しい期を迎え、売上が伸び悩んでいる。この業界全体悪いとのことなので新しい切り口を探さなければならないと考えている。最近メーカーからの仕切りが小さく上がっている。利益を圧迫し始めているとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI3.9 ポイント回復、採算 DI1.5 ポイント回復、仕入単価 DI7.7 ポイント回復、資金 DI1.5 ポイント回復、従業員 DI3.7 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 32.4 ポイント回復となった。業種別では、衣料品 67 ポイント、その他 6 ポイント回復、衣料品で横ばい、食料品 40 ポイント、自動車 25 ポイント悪化となった。1 月 2 日から初売りをしたが、大型ショッピングモールが元旦初売りのため福袋が全く売れなかった。初売りからウインターセールも来店数が伸びずかなり厳しい状況。アウトレットモール・ネット販売のプライス OFF 率が高く店舗販売での対策を考えざるを得ないとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI12.8 ポイント回復、採算 DI12.9 ポイント回復、仕入単価 DI2.6 ポイント回復、資金 DI12.2 ポイント回復、従業員 DI8.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 19.1 ポイント回復となった。</p> <p>業種別では、運送 33 ポイント、整備業 8 ポイント悪化、ホテル横ばい、クリーニング 200 ポイント、その他 25 ポイント、飲食 50 ポイント回復となった。冬期の観光型乗客数が外国人を中心に伸びている。中心市街地への求心力を強化していく施策を強く要望する。七空港一括民営化施策には今後も注目すべしであり、地域活性化の大きなトリガーになることを期待。そのために地元がどう汗をかくか。リーダーがいな点が気がかりという声も寄せられている。</p>